

姫路市の小学校と地域学習

山本 里保

キーワード：姫路市，小学校，校歌，地域学習，学習指導要領

1. はじめに

本研究の目的は、姫路市の小学校のあらましを調べ、その全体像を明らかにするとともに、特定の小学校に密着してその日常と通年を探求することである。また、社会科の出発点である第3学年及び第4学年での地域学習に着目して、姫路市での地域学習の実際について検討する。将来自分が就くであろう職場の現状を調べておくと、今後の自身の教員生活を円滑に進めるために必ずや役に立つであろう。研究対象に姫路市の小学校を選んだ理由としては、生まれ育った故郷であるということ、ゆくゆくはそんな姫路市の小学校で教壇に立ちたいと思っているからである。

本研究をするにあたって、まず教育の歴史や変遷を中心に姫路市の小学校の移り変わりを調べる。次に、姫路市の小学校のスペックを調べ、姫路市の小学校の全体像を明らかにする。また、多くの小学校の校歌を分析し、異なる視点から姫路市の小学校の特徴を捉える。

数ある姫路市の小学校の中から、教育実習を行った姫路市立大津小学校にズームインして、姫路市の小学校を覗見する。自分が経験した3週間の教育実習の経験をもとに姫路市の小学校の1日と1年を探る。

それらを踏まえて、姫路市の小学校の地域学習を研究する。地域学習の意義や成り立ちを把握した上で、小学校社会科の学習指導要領解説編を用いて、学習指導要領にみる地域学習を検討する。また、現行の教科書や姫路市の副読本を用いて姫路市での地域学習の実際を明らかにする。

2. 姫路市の小学校のあらまし

姫路市の小学校の歴史を見ると、市町の合併や北部の過疎化、南部の発展にともなう人口の変動を受けて、統合や新設を繰り返し現在に至っている。2013年（平成25年）現在、姫路市には小学校は69校存在している。その69校について、進学先中学校と児童数を表1にあらわした。

姫路市全体の児童数は31,391人、教員数は1,696人である。児童数は2006年（平成18年）の合併後から年々減り続けているのに対し、教員数はあまり変化はなくほぼ一定である。このことから、姫路市の小学校でも「少人数学級の実現」や「教師の負担軽減」のために教員一人あたりの児童数が減っていることが明らかである。

また、教員の年齢別構成を見ると、子育て世代である30代の女性の割合が多いことが特徴として挙げられる。出産してからも子育てをしながら安心して働ける環境が整っているものと推測される。

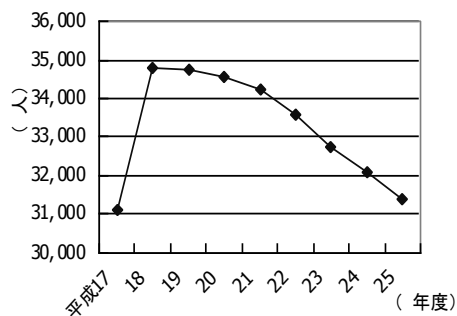


図1 姫路市の小学校全体の児童数
出所：筆者作成

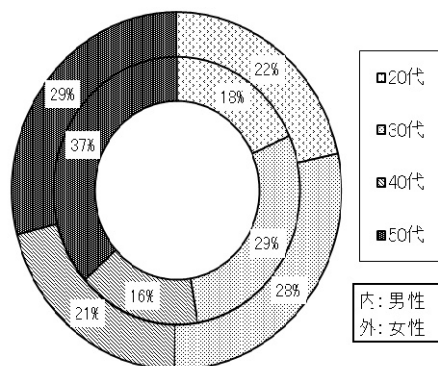


図2 姫路市の小学校教員の年齢別構成
出所：筆者作成

表1 姫路市の小学校一覧

| 番号 | 小学校 | 進学先 中学校 | 児童 数 |
|----|------|--------------|---------|
| 1 | 砥堀 | 増井 | 374 |
| 2 | 水上 | 増井 | 512 |
| 3 | 増井 | 増井 | 299 |
| 4 | 広峰 | 広嶺 | 760 |
| 5 | 城北 | 広嶺 | 343 |
| 6 | 野里 | 城乾 | 196 |
| 7 | 城乾 | 城乾 | 364 |
| 8 | 城西 | 琴陵 | 427 |
| 9 | 安室東 | 安室 | 928 |
| 10 | 安室 | 安室 | 781 |
| 11 | 高岡 | 高丘 (一部琴陵) | 672 |
| 12 | 高岡西 | 高丘 | 441 |
| 13 | 曾左 | 書写 | 731 |
| 14 | 峰相 | 書写 | 283 |
| 15 | 白鳥 | 大白書 | 326 |
| 16 | 青山 | 大白書 | 695 |
| 17 | 太市 | 大白書 | 91 |
| 18 | 東 | 東光 | 357 |
| 19 | 城東 | 東光 | 334 |
| 35 | 広畑第二 | 広畑 | 1008 |
| 36 | 大津 | 大津 | 809 |
| 37 | 南大津 | 大津 | 263 |
| 38 | 大津茂 | 大津 (一部朝日) | 509 |
| 39 | 網干 | 網干 | 620 |
| 40 | 網干西 | 網干 | 359 |
| 41 | 勝原 | 朝日 | 747 |
| 42 | 旭陽 | 朝日 | 630 |
| 43 | 余部 | 朝日 | 336 |
| 44 | 船津 | 神南 | 252 |
| 45 | 山田 | 神南 | 190 |
| 46 | 豊富 | 豊富 | 591 |
| 47 | 谷内 | 城山 | 103 |
| 48 | 谷外 | 城山 | 273 |
| 49 | 花田 | 花田 | 443 |
| 50 | 御国野 | 東 | 584 |
| 51 | 四郷 | 四郷 | 303 |
| 52 | 別所 | 東 | 567 |
| 53 | 的形 | 大的 | 283 |
| 54 | 大塩 | 大的 | 436 |

| | | | |
|----|-----|-----------------|------|
| 20 | 白鷺 | 白鷺 | 666 |
| 21 | 船場 | 琴陵 | 296 |
| 22 | 城陽 | 山陽 | 512 |
| 23 | 手柄 | 山陽 | 569 |
| 24 | 荒川 | 山陽 | 918 |
| 25 | 八木 | 灘 | 143 |
| 26 | 糸引 | 灘 | 986 |
| 27 | 白浜 | 灘 | 863 |
| 28 | 妻鹿 | 灘 | 238 |
| 29 | 高浜 | 飾磨東 | 1097 |
| 30 | 飾磨 | 飾磨中部 (一部飾磨東) | 936 |
| 31 | 津田 | 飾磨西 | 922 |
| 32 | 英賀保 | 飾磨西 | 877 |
| 33 | 八幡 | 夢前 | 1052 |
| 34 | 広畑 | 広畑 | 285 |

| | | | |
|----|-----|----|-----|
| 55 | 林田 | 林田 | 151 |
| 56 | 伊勢 | 林田 | 72 |
| 57 | 家島 | 家島 | 127 |
| 58 | 坊勢 | 坊勢 | 154 |
| 59 | 置塩 | 置塩 | 150 |
| 60 | 古知 | 置塩 | 127 |
| 61 | 前之庄 | 鹿谷 | 211 |
| 62 | 筋野 | 菅野 | 37 |
| 63 | 上菅 | 菅野 | 92 |
| 64 | 菅生 | 菅野 | 311 |
| 65 | 香呂 | 香寺 | 473 |
| 66 | 中寺 | 香寺 | 404 |
| 67 | 香呂南 | 香寺 | 179 |
| 68 | 安富南 | 安富 | 265 |
| 69 | 安富北 | 安富 | 58 |

出所：姫路市ホームページより作成

3. 小学校での実習経験

姫路市立大津小学校で、2013年（平成25年）10月7日（月）から10月25日（金）まで教育実習を行った。

朝7時45分ごろから校門に立ち、登校してくる児童にあいさつをして迎え入れる、朝のあいさつ運動をする。その後、職員朝礼が開かれる。職員朝礼では、日替わりに1人の先生が司会の役割をして、朝礼を進めていた。まず全員が起立をして、朝のあいさつをする。次に、今日1日の学校の運営にあたってや直近の学校運営に関わることについての諸連絡をしたり、決定事項の報告などをする。それが終わると、教頭先生と校長先生の話がある。そこで、全体での職員朝礼は終了し、必要がある場合にのみ学年の先生での共通理解のための報告・連絡・打ち合わせがある。その間、児童は教室に入り、チャレンジタイムと称された朝学習や朝読書を進める。

職員朝礼が終わると、先生たちは自分の学級に向かう。先生が教室に行くと、朝の会と呼ばれる学級活動を日直の2人が進める。内容としては、まず全員で朝のあいさつをしてから、日直が今日1日の学級のめあてを考えて発表し、黒板に書くという簡単なものである。時間が余れば、授業まで学習をしたり休憩をする。

1時間目から4時間目までが終わり、給食の時間になると給食の配膳をする。給食が終わると食器を返却し、先生は児童たちを先導し給食室へ行く。清掃の時間は、児童に声をかけながら教室の清掃を運営していた。

午後の授業が終わると児童は帰る準備をして、帰りの会をする。日直の2人が司会をし、日直のスピーチ、係りや当番からの連絡があり、帰りのあいさつをし下校する。

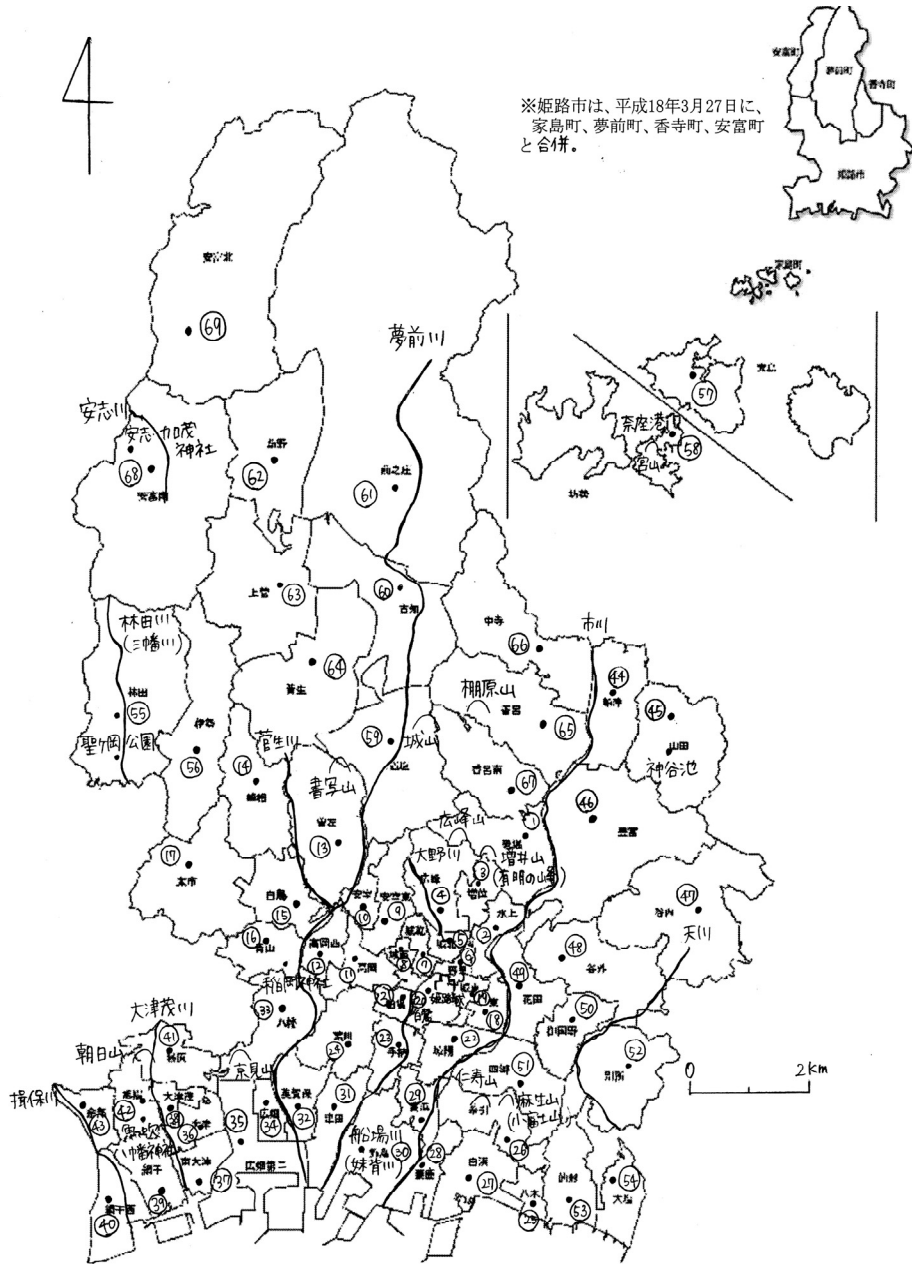


図3 姫路市の小学校の分布と校歌に歌われる山河や建造物
出所：筆者作成

4. 姫路市の地域学習

小学校では、中学年の3年生になって初めて社会科という教科を学ぶことになる。低学年の生活科においては、子どもたちは、社会というものを自分とのかかわりでとらえる。社会科ではさらに視野を広げて、さまざまな人々が協力しながら、より良い生活を築こうと努力していることに目を向けさせようとするのである。現行の学習指導要領（2008年（平成20年）告示）では、社会科第3学年及び第4学年の目標を次のように記している。

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

この記述から、社会科は自分たちの住んでいる社会というところを知る、地域学習を出発点にしているということが分かる。それを踏まえ地域学習で育てる力について、次の6つを挙げることができる。

- ①見る力 —いわゆる観察力
- ②聞く力 —インタビューする力
- ③集める力—情報収集力
- ④調べる力—いわゆる問題解決能力に近い
- ⑤表わす力—表現力
- ⑥分かる力—いわゆる社会的判断能力

姫路市の小学校では、学習指導要領や教科書に即してどのような地域学習を行っているのか分析した。姫路市では地域学習のための副読本が発行されていた。その平成6年（1994）度版が手に入ったので、現行の教科書と照らし合わせ表4にあらわした。

5. おわりに—まとめ

姫路市の小学校の歴史を見てみると、市町の合併や北部の過疎化、南部の発展にともなう人口の変動を受けて、統合や新設を繰り返し現在に至っている。2013年（平成25年）現在、姫路市には小学校は69校存在しており、全体の児童数は31,391人、教員数は1,696人である。児童数は2006年（平成18年）の合併後から年々減り続けているのに対し、教員数はあまり変化はなくほぼ一定である。姫路市の小学校でも「少人数学級の実現」や「教師の負担軽減」のために教員一人あたりの児童数が減っていることが明らかである。

地域学習については、社会科を初めて学ぶ児童にとって、自分たちの住む身近な地域を学ぶことが社会の仕組みを学ぶ第一歩となるということが強く意識されていると分かった。

本研究を進めるにあたり、自分自身が受けた故郷の小学校教育を見つめ直し、今度は自分が故郷の子どもたちを育てていく番であるということを改めて感じる事ができた。

表4 小学校3・4年社会科教科書（東京書籍）と姫路市の副読本にみる地域学習

| | 1994年当時の教科書 | 現行の教科書（東京書籍） | ひめじ社会科学学習資料 |
|----|---|--|--|
| 3年 | 1. みんなでつくるまち ①花と緑のまちづくり ②みんなの公民館 2. わたしたちの市のようす ①学校のまわりのようす ②市ぜんたいのようす 2. わたしたちのくらしと商店がい ①スーパーマーケット ②大きな駅前商店がい ③じょうずな買いもの 4. わたしたちのくらしとものをつくるしごと ①かまぼこ工場 ②市の工場で作っているもの ③ねぎをそだてる ④市の農家でつくられているもの 5. かかわってきた人々のくらし ①道具からむかしをしらべる ②くらしのうつりかわり ③地いきの古いものさがし | 1. わたしのまちみんなのまち ①学校のまわり ②市の様子 2. はたらく人とわたしたちのくらし ①店ではたらく人 ②農家の仕事 3. かかわってきた人々のくらし ①古い道具と昔のくらし ②のこしたいもの、つたえたいもの | ◎公共しせつの利用 ◎豊かなくらしのためのしせつ ◎姫路市のようす ◎姉妹都市 ◎近所の商店がい ◎姫路市の農業 ◎姫路市の工業 ◎姫路市の農業 ◎姫路市のむかしのくらし ◎姫路市にのこる古いもの ◎姫路市のうつりかわり |

出所：筆者作成

参考文献

- 小学校教科書（2011）：『新しい社会 3・4年 上』東京書籍
 小学校教科書（2011）：『新しい社会 3・4年 下』東京書籍
 谷川彰英，臼井嘉一（1991）：『小学校地域学習の授業作り』東京書籍
 姫路市教育委員会（2013）：『姫路市の教育 平成25年度（2013年度）』
 姫路市小学校社会科教育研究会（1994）：『ひめじ 社会科学地域学習資料 平成6年（1994）度版』オオカワ出版
 文部科学省編（2008）：『小学校学習指導要領解説 社会編』

参考 URL

兵庫県教育委員会事務局学事課ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~gakuji-bo/eszaiseki.html>

姫路市学校園ホームページ <http://www.himeji-hyg.ed.jp/>

姫路市ホームページ <http://www.city.himeji.lg.jp/>

The Elementary Schools in Himeji, and their Regional Study

YAMAMOTO Riho

Key Words : Himeji, elementary school, school song, regional study, Course Of Study